

長野県森林づくり指針の計画期間の見直しについて

森林政策課

現行の指針 ～森林を活かし 森林に生かされる 私たちの豊かな暮らし～

- 長野県ふるさとの森林づくり条例（H16.10.14）第9条の規定により、H17.6.10に策定（H22.11.19に改定）
- 指針では、**概ね100年先の森林のあるべき姿を明らかにし、その実現に向けて、今後10年間に推進する森林づくりに関する施策**を提示
- 計画期間は、H23年度からH32（R2）年度までの10年間**として、H21年度を起点としたH32（R2）年度の目標値を設定しており、**今年度が最終年度**

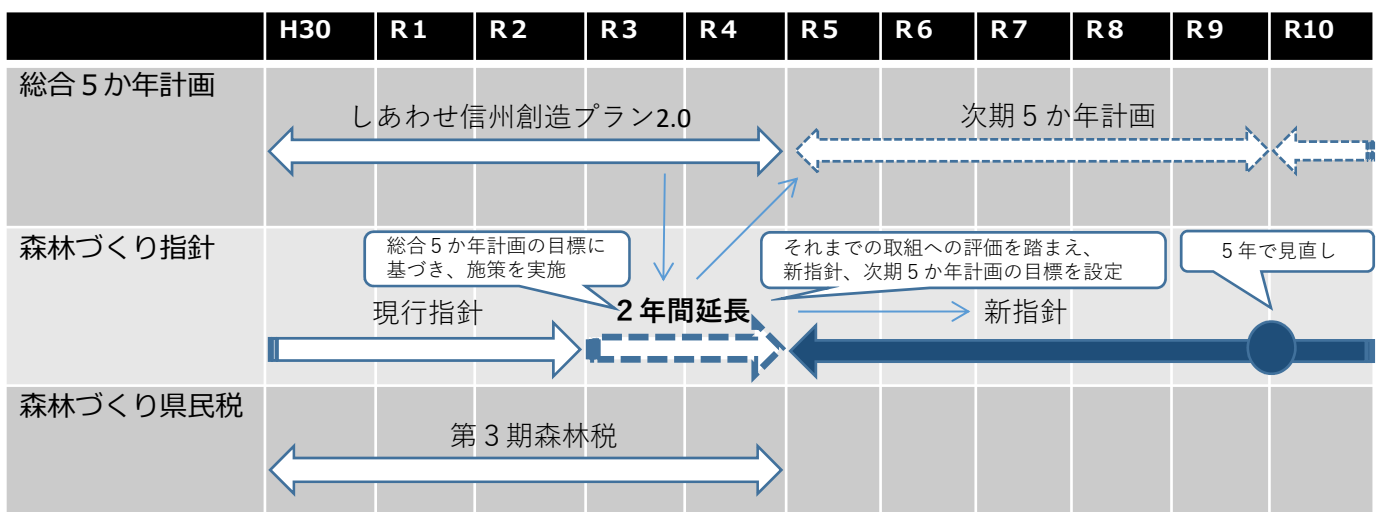
現行指針の取組

【現行指針が目指す姿】

- 森林づくり**：多様な林齢・樹種からなる森林が、様々な機能を発揮
- 産業づくり**：県産材が様々な用途に利用され、林業・木材産業が地域を支えている
- 地域づくり**：森林資源・空間の多面的利活用により、産業や交流が生まれ地域が活性化

今後の方針

- H30年のしあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）の策定に当たっては、指針を踏まえて、2つの指標を森林・林業分野の関連目標に設定
- 指針の計画期間は10年であり、総合5か年計画は5年であることから、両者の整合と調和を図るため、**現行指針の計画期間を2年間延長してR4年度までとする**
- 計画期間の延長に当たっては、**基本指標と施策目標の目標値について見直し**を行い、**みんなで支える森林づくり県民会議等の意見を伺った上で、県議会11月定例会に報告**する
- 延長した2年間は、新指針、次期5か年計画の目標づくりを行うための期間とする



指針延長の目標値の見直しの考え方

- 総合5か年計画と同一の目標である素材生産量は、総合5か年計画の目標値を活用
- 素材生産量以外の目標は、総合5か年計画の目標値を設定した際に活用・検討した数値や、実績数値、関連する計画等を踏まえて目標値を設定

基本指標

項目	基準値 (H21)	目標値 (R2)	実績	説明	延長目標値(案) (R4)
民有林の整備 (50年後の針葉樹占有率)	59%	43% (※R42)	59% (H30)	間伐は進むも、皆伐が少なく、統計上の変化なし	43% (目標年度をR44とし、 現行指針の目標値を踏襲)
民有林の間伐 (期間累計)	-	18.4万ha	13.5万ha (H30)	条件困難地が残存、集約化の人員と現場労務の不足	20.3万ha (総合5か年計画の目標値設定に活用)
素材生産量 (年間)	30.5万m ³	75.0万m ³	54.0万m ³ (H30)	製材は減少、合板は増加、バイオマスは今後増加見込	80.0万m ³ (総合5か年計画の目標値を活用)
林業就業者数	2.6千人	3.0千人	1.5千人 (H30)	働き手の減少、保育事業の減少、不十分な就業環境	2.2千人 (総合5か年計画の目標値設定に活用)

※ 現行指針では、民有林の整備のみ目標年度を50年後(平成72年度=令和42年度)に設定

主な施策指標

項目	基準値 (H21)	目標値 (R2)	実績	説明	延長目標値(案) (R4)
保全される集落数 (期間累計)	-	700集落	493集落 (R1)	災害の激甚化・多様化による対策の遅れ	670集落 (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)
間伐材搬出量 (年間: 民有林)	14.3万m ³	23.8万m ³	18.7万m ³ (H30)	機械化の効率化が進むも、近年は実績18~19万m ³ で横ばい	28.0万m ³ (総合5か年計画の 目標値設定に活用)
路網延長 (期間累計)	12829km	14429km	14014km (H30)	現行の目標値はR2に達成見込	14719km (過去の伸び率から算出)
森林の里親契約件数 (期間累計)	51件	100件	139件 (R1)	達成済み	154件 (森林税基本方針の目標値)

参考

しあわせ信州創造プラン2.0(長野県総合5か年計画について)

- 県政運営の総合計画であり、概ね2030年(R12年)の将来像を展望し、これを実現するための今後5年間(H30~R4年度)の行動計画を策定。森林・林業分野は2つの指標を設定

指標名	現状	目標	備考
林業就業者一人当たりの 木材生産額	477万円/人 (2015年)	671万円/人 (2021年)	木材生産額を素材(木材)生産に従事する林業従事者で除した数値 [素材(木材)生産量の目標を踏まえ算出した木材生産額をもとに設定]
素材(木材)生産量	498千m ³ (2016年)	800千m ³ (2022年)	建築・合板・製紙・バイオマス用材等に使用される素材(丸太等)の生産量 [県産材需要の増加や信州F・POWERプロジェクトの稼働などによる生産量の増加を見込み設定]